

第13回 石川県言語聴覚学術集会



会期: 2025年11月30日(日)

会場: 金沢医科大学病院 12階 大会議室

主催: 公益社団法人石川県言語聴覚士会

ご案内

I. 学術集会参加者の方へ

- ・受付は 9:00 から開始いたします。金沢医科大学病院 12 階大会議室前に受付を設置しております。
- ・お車は指定された駐車場以外には駐車しないようにしてください。
- ・駐車料金は 100 円です。駐車券をお持ちになり、会場受付にて認証器に通してください。

II. 協賛企業の商品展示

- ・特別会議室にて賛助会員企業による商品展示を行います。

会場案内図

駐車場

- 右図の患者駐車場(A・B・C・D・E)をご利用ください。
- 駐車料金は100円です。駐車券を忘れずに会場までご持参ください。受付にて認証器に通します。



会場案内



- 救急医療センター側の病院出入り口(病院2号棟と3号棟の間)から入場し、病院1号棟に移動してください。病院正面玄関からは入場できません。
- 病院1号棟のエレベーターで12階までお越しください。

プログラム

9:30-9:35 開会の挨拶

公益社団法人石川県言語聴覚士会会长 徳田 紀子

9:35-10:15 失語症者向け意思疎通支援事業について

「現状と展望」

失語症者向け意思疎通支援事業 WG 金沢一恵

10:30-12:00 特別講演

「失語症と SLI における文法障害の臨床」

国際医療福祉大学大学院 藤田郁代先生

12:05-12:45 協賛企業の商品展示

失語症者向け意思疎通支援事業について

9:35—10:15

失語症者意思疎通支援事業の現状と展望について

石川県言語聴覚士会
コミュニケーション支援 WG
金沢一恵

本報告では、石川県における「失語症者向け意思疎通支援事業」の取り組みと課題、さらに失語症友の会との連携について述べる。本事業は、失語症によりコミュニケーションに困難を抱える当事者の、外出同行や話し合いの場の支援などを目的とした地域生活支援事業であり、石川県では令和2年度より意思疎通支援者の養成講習が開始された。

養成講習では、失語症の基礎理解、コミュニケーション支援技術、外出同行や身体介助の実習など、実践に直結する内容を提供している。修了後は支援者として登録し、地域での支援活動を担うことが期待される。さらに、実践力の維持・向上を目的にフォローアップ講習を実施し、ロールプレイング、支援者同士の意見交換、失語症友の会や失語症カフェへの参加など、継続的に学べる仕組みを整備している。

失語症友の会との連携は、支援者育成や今後の派遣事業の際の当事者とのマッチングにおいて重要な柱となっている。友の会では近年、会員の高齢化や新規入会者の減少が課題となっており、今年度より当会で運営サポートチームを結成。広報活動の強化や、当事者の希望に寄り添った例会づくりを進めている。例会では、これまでSTが中心となって訓練的な活動を行ってきたが、今後は「当事者がやりたいこと」「楽しくコミュニケーションが取れる場づくり」「家族同士が交流し、悩みを共有できる場」として再構築を図っている。支援者は例会に参加し、会話支援、移動の補助、当事者同士の交流促進などを通して、実践力を培うと同時に、当事者との信頼関係を深めている。

また、令和6年度から開始された失語症カフェでも、支援者は会話支援技術の向上だけでなく、当事者家族と関わる機会を得ている。さらに、友の会50周年記念大会では、会場での移動支援や登壇フォローを担い、地域での社会参加支援の実践にも結びついている。

一方、派遣事業は現在協議中であり、県内の当事者数把握やニーズ調査、運営人員の確保などの課題が残る。言語聴覚士の不足を補うためには、支援者へのタスクシフトを進め、安心して活動できるフォローアップ体制を構築することが不可欠である。

今後は、医療から生活期への切れ目ない支援を意識しつつ、地域での「居場所づくり」をより活性化させることが求められる。意思疎通支援者とSTが協働して活動することで、失語症当事者と家族が安心して参加できる場が広がり、地域全体で支える体制構築につながると考える。

特別講演

10:30—12:00

特別講演

失語症と SLI における文法障害の臨床

国際医療福祉大学大学院言語聴覚分野 藤田郁代

言語聴覚障害の臨床・研究に言語聴覚士のような専門家が携わるようになったのは日本では1960年頃、米国は1920年頃からであり、これより現在に到るまで言語聴覚療法に関する知識・技術は大きく進歩し、その提供体制も変化してきた。本講演では、最初に失語症の言語治療を取り上げ、言語治療の理論・技術がこれまでどのように進化し、現在の私たちはどのようなスタンドポイントに立っているかについて述べる。次に脳の損傷や発達上の問題によって生じる文法障害を取り上げ、病態の見かたと訓練・指導法について現時点における最前線の理論・技術を紹介する。

文を理解し話すことは人間を最も特徴づける機能のひとつであり、このような機能が障害されると、メッセージの伝達のみならず、生活活動全般に様々な支障が生じる。文法障害としてよく知られているのは失語症の失文法（統語障害）および特異的言語発達障害（specific language impairment SLI）における文法障害である。このふたつの障害にはいずれも脳機能が関係しているが、一方は後天的な障害、他方は発達上の問題という点で異なる。これらの障害を対比的にみることにより、文法障害の本質や臨床的介入法のあり方について貴重な情報が得られると考えられる。

そこで、本講演では失語症や SLI における文法障害が日本語においてどのような現れ方し、これに脳機能がどのように関係しているか、臨床的にいかにアプローチすべきかについて考えることにする。後半では、失語症の文法障害を中心に、症状の見かた、言語性 STM との関係、評価・訓練法の実際についてわかりやすく解説する。

協賛企業からのお知らせ

株式会社 明治

ティーアンドケー株式会社

株式会社フードケア

株式会社 宮源



meiji

カラダに大切な6大栄養素を配合!

カロリーコントロールしやすい
1本 100kcal/125ml



*1 ミネラル: 8種
*2 ビタミン: 13種



明治 MICHITAS
カップ
(乳酸菌飲料風味)
125ml



明治 MICHITAS
カップ
(レモン風味)
125ml



明治 MICHITAS
カップ
(白桃風味)
125ml

株式会社 明治

がん患者さんの口腔管理 ドライマウス対策 舌苔や義歯のケアにも

お口にやさしい ペプチサル・シリーズ
唾液のチカラで健康と笑顔を

Pepti-Sal



2種類の
ペプチド
配合
ラクト
フェリン
配合
キシリ^ト
トール
配合
保湿成分
配合
pH
中性域
発泡
洗浄剤
無配合
アルコール
無配合
パラベン
無配合

○成分の詳細については製品をご覧ください。 *1 ナイシン・ポリリシン(清掃助剤) *2(清掃助剤) *3(甘味料)

Pepti-Sal(ペプチサル)とは、

「Peptide (ペプチド)」 +
「Saliva (唾液)」の造語。

唾液のチカラに着目して開発された
低刺激性のオーラルケア製品です。
デリケートなお口をやさしくケアし、
お口の環境を健康に保ちます。
要介護の方のケアにもおすすめです。

T&K ティーアンドケー株式会社

0120-555-350

受付時間: 平日9:00~18:00(土日祝日を除く)

www.comfort-tk.co.jp



Gentle Care
ジェントルケア



Macerate Gel
マセレイト
ジェル



とろみ

とろみ調整食品

(水溶性食物繊維)
難消化性
デキストリン
配合

トローミファイバー

厳選された原材料だけを使用
からだにやさしい自然な美味しさ
スッキリとした喉越しを追求しました

MiyaGen
食べる喜びを大切に

第 13 回 石川県言語聴覚学術集会

プログラム集



2025 年 11 月 30 日発行

発行者: 大会長 徳田紀子 公社)石川県言語聴覚士会 会長

事務局: 公社)石川県言語聴覚士会 学術部

山崎憲子、經田香織、松井加名子、山本雅代、柴田真彩

薮下将人、岡本一宏、長田由絵、新田茜、伊部智之